



## 九州から北海道まで 6人以上で行脚し 「クレマン」仕掛ける

8月、9月といろいろなスロットでクレジット上げゴト(クレマン)による甚大な被害が多数発生しました。主にジャグラーシリーズを狙ったクレジット上げゴトで全国行脚しているゴトグループは、8月中旬は九州各地で犯行を繰り返して、その後すぐに北海道に現れて荒稼ぎしました。

このグループは、2年位前から

全国各地で犯行を続けており、以前にも北海道でゴト行為を繰り返していたグループであることが弊社のブラックリスト(ゴト師顔写真)から判明しております。

過去の被害データによると、今年の2月にパチスロ化物語のART誘発セルゴト(コマンド送り)、昨年の11月には「アイムジャグラーIE X」「アイムジャグラーAP EX VI」「アイムジャグラーSP VIII」「ハッピージャグラーV8」でクレジット上げゴトを行っていました。

今回はニューメンバー2人を加

えた6人以上のグループで行動していたようで、「ニューアイムジャグラーEXXC」とみなし機の「アイムジャグラーEX」で被害が多発し、使用していたクレジット上げの道具はエアークレマンであることがその犯行風景から判明しております。



## 「拒否」に凄まれても 会話録音を明示し 毅然として対応する

札幌市内のあるホールでは、犯行にいち早く気がついて警察へ通

報した店舗もあったのですが、悔しいことに危険を察知したゴトグループが警察到着前に遊技をやめて交換をしようとしてきました。

店舗の役職者の方が交換時の対応に入って、データや遊技に不審な点があるので調査してからの交換になるので、すぐには交換が出来ない旨を伝えたところ、急に凄んできたそうです。

おそらく、凄むことによりその勢いに店舗側がびびって交換出来た経験が過去にあるので、とりあえず凄んでみたのですが、店舗側はびびる必要はありません。

凄んで交換を迫ってきた場合に、ゴト師が暴言と共に交換を迫ったのであれば恐喝罪又は強要罪に該当する場合もあるので、対応時にスマートフォンや携帯電話のボイスレコーダー機能を活用するなどして、万が一に備えるという方法があります。

その際には、凄んだ相手に会話を録音していることを伝えることを忘れずに実行してください。そうしなければ、無断録音となって相手方の人格権を侵害したという違法収集証拠となる場合もあります。

# ゴトに勝つ 高石隆一

# 38

## 改造服に3〜4箱分の玉 空き箱をたった2秒で満杯



今回は凄んできた相手に店舗の役職者はびびることなく、既に警察に通報していることを伝えたところゴトグループは慌てて逃げに行ったようで、結果的にこのお店では実被害は無く済みましたが、

## 異常な誤差メダル数が1000枚であつても実際にはそれ以上に

一概には言えませんが、このゴトグループの被害に遭った場合には、誤差メダルの2倍の枚数が交換された枚数であるとするれば、3万枚の誤差メダルが出た店舗でゴトグループが交換した枚数は6万枚であった可能性もあります。さすがに6万枚は大げさかもしれませんが、交換された枚数を追うことが出来ない店



舗の状況では、最悪の被害の想定も必要なのではないでしょうか。

被害枚数の計算は簡単ではないが「悪質」へ大事な対策

## 被害枚数の計算は簡単ではないが「悪質」へ大事な対策

誤差メダルを指してゴト被害金額と呼ぶ方もいますが、最近のクレジット上げゴトは不正にカウントアップしたクレジットを使用し、トアツプしたクレジットを引くことを狙っているパターンも多く、中にはなかなか大当たりを引くことが出来なくて交換枚数が誤差メダルより少ないケースもあります。

しかし、その逆で誤差メダルの何倍もの交換枚数だったケースもあります。防犯カメラの録画映像から交換された時間を割り出し、レシート控えと時間を合わせて交換枚数を調べ作業は簡単ではありませんが、この作業で被害金額を割

り出し警察に被害届を出している店舗もあります。

全国で悪行を繰り返しても捕まることがなく、荒稼ぎしているゴトグループを悪質な広域犯罪グループとして追い込むことは、被害に遭った店舗の悔しさからの努力の積み重ねから始まるのだと私は考えております。面倒だから被害届は出さない店舗が多いのが業界の悲しいところですが、ゴトという共通の敵を殲滅するためにもぜひ前向きな行動をお願いいたします。

## 新たに狙われた「月下雷鳴」のクレマン 従来と同様の作り

そして、新たにクレジット上げゴトのターゲットになったのが、エンターライズ「パチスロモンスターハンター月下雷鳴」で、9月には近畿地方や九州地方で被害が多発しておりました。

被害が発覚した経緯は、ある店舗で1週間のうちに3回も閉店後に誤差メダルが発生したので、防犯カメラの録画映像を詳しくチェックしたところエンターライズの



情報提供元：(株)エス・フオート

今後、全国的な被害が懸念される事案ですので、前号で詳しくお伝えしたAT誘発セルゴトと合わせて十分な警戒をお願いいたします。また「パチスロモンスターハンター月下雷鳴」と同様のメダルセレクトを使用している同メーカーの「パチスロ戦国BASARA3」や「パチオハザード5」等にも被害が拡大する

可能性があるので注意が必要です。ユニバーサル系攻撃数々の対策尻目に「長時間異常なし」で9月中旬に東北地方で甚大な被害が発生したのが、ユニバーサル系のクレジット上げゴトです。被害に遭ったのはメーシー「SLO魔法少女まどか☆マギカ」で、ある店舗では実行役と見張り役の2人組によって昼頃から閉店近くまでの長時間に渡って犯行が行われて約1万1千枚のメダルを、3千枚から4千枚毎に3回から4回に分けて交換されてしまいました。閉店後にはデータ異常で、1万4千枚の誤差メダルが発生していたそうです。

長時間に渡る犯行であったにもかかわらず、その間に一度もセレクトエラーの発生は無く、閉店後に当該遊技機のエラー情報履歴を確認してもエラー報知の履歴は無かったそうです。以前にもお伝えしましたが、ユニバーサル系のスロット機を狙ったクレジット上げゴトは、昨年の被害発生を受けてメーカーが早々に

長時間に渡る犯行であったにもかかわらず、その間に一度もセレクトエラーの発生は無く、閉店後に当該遊技機のエラー情報履歴を確認してもエラー報知の履歴は無かったそうです。以前にもお伝えしましたが、ユニバーサル系のスロット機を狙ったクレジット上げゴトは、昨年の被害発生を受けてメーカーが早々に

「パチスロモンスターハンター月下雷鳴」にてクレマンを使用しているような仕草をする不審な男が映っており、店舗で警戒していたところにその不審な男が来店し犯行を実行したので捕まったそうです。今回「パチスロモンスターハンター月下雷鳴」で使用されたゴト器具は、電池式のクレマンタイプで従来のクレマンと同様の作りで、メダル投入口から挿入されたクレマンがセットされた状態時に、メダルを投入するふりでメダルをクレマンに触れさせることでスイッチが入り、任意の枚数のクレジットが上がる仕組みになっていたそうです。

長時間に渡る犯行であったにもかかわらず、その間に一度もセレクトエラーの発生は無く、閉店後に当該遊技機のエラー情報履歴を確認してもエラー報知の履歴は無かったそうです。以前にもお伝えしましたが、ユニバーサル系のスロット機を狙ったクレジット上げゴトは、昨年の被害発生を受けてメーカーが早々に

しかし、そのゴト器具も完璧ではなく、セレクトエラーが発生したり、メダルセレクト内にゴト器具が引っかかったりして、そのままゴト師が逃走するなどの状況が数多く確認されてきました。今回、一切のエラーが発生すること無く甚大な被害が出てしまったことから、以前のものよりも進化したタイプのゴト器具が開発されてメーカー対策を完璧に突破しているのかもしれない。

他店玉の持ち込みゴトは、お金を使わずに大当たりを引くことを狙った遊技補助パターンと、遊技を一切する気が無く持ち込んだ玉を交換することを目的とした交換パターンに分類することが出来ます。今回、四国地方や北陸地方で犯行を繰り返していたのは、交換パターンの持ち込みゴトグループでした。過去には別のゴトグループによる毎回5万発クラスの被害が多発したことがあります。その時にはあまりの誤差玉の多さから設備機器の不具合から発生したデータエラーだと間違えたケースもありました。

### ユニバーサル系攻撃数々の対策尻目に「長時間異常なし」で



ユニバーサル系で使用されているクレ襦袢(500玉2枚分ほどの大きさ)

九州、北陸を廻り持ち込んですぐ交換1店当たり2万発も夏季に減る傾向にあるゴト手口のひとつが、大量の他店玉の持ち込みゴト事案ですが、この大量の他店玉の持ち込みが8月頃から四国地方や北陸地方で多発していった。この犯行は同一グループによる犯行で、一店舗当たり2万発くらいの他店玉が持ち込まれていたようです。



改造されたベスト  
約5,000発が仕込まれていた

手馴れた持ち込みゴトグループになると、受け取り役が空の玉箱を手に持った状態で防犯カメラに背を向けて玉持ち込み役と向かい合ったわずか2秒の時間で空だった玉箱が他店玉でいっぱいになっていました。これは他店玉持ち込み役が着ている服に改造が施されていて、一瞬で大量の他店玉を吐き出すことが出来るようになってくるからです。改造されたこの服には3箱から4箱分の玉を隠し持つことが出来るようになっており、1回の持ち込みで約5千発以上の玉を持ち込んでいたようです。

### 各台計数機も危ない 検知避けコツコツと 繰り返し交換する

最近では、各台計数機を狙っての他店玉の持ち込みゴトも発生しているのが注意が必要です。通常、各台計数機には持ち込み監視機能が付いていて、玉が持ち込まれると報知してくれるようになっていきます。しかし、この持ち込み監視機能が検知する玉数より少ない数の玉を持ち込みでは、会員カードなどのICカードへ貯玉して、その後違う遊技機へ移動して同様に犯行を繰り返して、結果的に大量の他店玉を持ち込んでコツコツと粘り強いタチの悪いゴト事例も出てきております。

また、このような犯行手口の場合には他店玉ではなく、貸玉料金が違うコーナーからの持ち込み事例が多く、仮にコーナー違いの持ち込み事案を指摘して注意をしても、間違えたと言いつけて逃げようとするケースが多いので、防犯カメラの録画映像に何度も同様の持ち込みが繰り返されているか、いなかで、純粹に間違えたのか、犯

意があつて持ち込んだのかを判断してください。

このように持ち込み監視機能があるからといっても決して安心は出来ない状況ですので、自店の各台計数機の持ち込み監視機能の設定状況や仕様をこの機会に確認してはいかがでしょうか。

### クレイマーは理不尽 悲しいことですが 「ルール」の見直しを

ゴト事案だけでなく、最近ではモンスターカスタマー(クレイマー)によるトラブルも酷くなっているような気がします。ある店舗では、スマートフォンでの操作に夢中になって前を見ずに歩いてきたお客様と接客中だったホールスタッフと激突してしまいました。

普通で考えると、原因はスマートフォンでの操作に夢中で前を見ていなかったお客様にあると思われるのですが、そこはモンスターカスタマーですので自分のことは棚に上げて、ホールスタッフの落ち度を激昂して攻め立てます。この時は、スマートフォン液晶画面の保護シールがレア物の限定品でその保

護シールに傷が付いたので弁償しろとお怒りでした。

また、ある店舗では、ホール内のなんでもないほんのちよつとした傾斜のある通路でひとり勝ちで勝手に転倒して腕を骨折した際に、店長が親切心で病院へ運んだところ、転倒して骨折したのはお店のせいだから治療費を払えと言いました。同様の事案で、弁償や治療費を実際に支払ったケースが他店舗であつたことが、このようなモンスターカスタマーを生んでしまったのかもしれない。

今後はハウスルールや遊技約款に、このような事案にも対応した文言の記載が必要になっていくのかもしれない。悲しいことですが、世知辛い世の中になっていきます。今一度、あらゆる観点からハウスルールや遊技約款の見直しをお願いいたします。

■高石隆一 ■たかいしりゅういち  
警備会社の指導員、セキユリティー会社を経営して2003年、有限会社ジャパンセキユリティーサービスを設立し代表取締役。札幌方面遊技事業協同組合、札幌遊技業協同組合、札幌遊技業支配人会の顧問を務める。また、パチンコ産業のセミナー講師を数多く務める。北海道警察本部の捜査にも協力している。「二期会」が座右の銘。